

フォローアップシートは、これまでの全国学力・学習状況調査において、本道の児童生徒が、比較的間違いやすい問題を取り上げ、学習指導要領の指導内容に基づき、学年間の系統性を大切にされた指導の在り方について、検討いただくために作成したものです。

各学校において、本シートを活用しながら、調査問題や調査結果の分析等に当たられるとともに、指導内容を再度確認したり、各学年での学びを振り返ったりするなど、指導の参考にしてください。

文学的な文章を読む

「第1学年 C 読むこと」

1 課題となる問題を分析しましょう

4 次の文章は、「私」が子どものころの話です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

(佐藤多佳子「五月の道しるべ」による。)

二 _____線部②「見とがめられる」とありますが、この言葉の意味として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 視線を離さないで見続けられる。
- 2 怪しいと見て問いただされる。
- 3 あなどって軽く扱われる。
- 4 立派だと感心される。

<出題のねらい>

この問題は、文学的な文章を読んで、文脈における語句の意味を的確にとらえることができるかどうかをみるものです。

ここでは、登場人物の内面が変化していく部分を取り上げ、文章の展開に即して、文脈における語句の意味について考えることが求められています。

<正 答> 選択肢 2

「見とがめる」の辞書的な意味は、「見て怪しむ。怪しいと見て問いただす。」です。ここでは、本文の文脈から判断して、「怪しいと見て問いただされる。」となります。

2 指導内容を確認しましょう

* 学習指導要領国語（平成20年告示）から

(小)【第5学年及び第6学年】

エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。

【第1学年】

ア 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること。

【第2学年】

ア 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むこと。

ア 語句の意味の理解に関する指導事項

- ・ 小学校第5学年及び第6学年の「登場人物の内面」の描写をとらえる学習を生かして、文脈の中における語句の意味をとらえたり、全体における語句の役割を考えたりすることについて定着を図ります。

3 指導のポイントを明らかにしましょう

☆ 文脈に即して語句の意味を的確にとらえたり、文章全体における語句の役割を考えたりできるようにしましょう。

第5学年及び第6学年では

- 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえることができるようにする
 - ・ 登場人物の相互関係から人物像やその役割をとらえることによって、内面にある深い心情をとらえられるように指導する。
- 優れた叙述について自分の考えをまとめることができるようにする
 - ・ 場面の展開に沿って読みながら、感動やユーモア、安らぎなどを生み出す優れた叙述に着目して自分の考えをまとめられるように指導する。

第1学年では

- 登場人物の言動の意味や心情を文章の展開に即して考えることができるようにする
 - ・ 登場人物の言動の意味や心情を考えさせる際には、一つの叙述だけを手掛かりにするのではなく、前後の叙述を関連させて登場人物の心情の推移を読み取らせるように指導する。
- 語彙を豊かにする
 - ・ 日頃から辞書を引いて語句の意味を確かめる習慣を身に付けることができるように指導する。
 - ・ 前後の文章のつながりから語句の意味を推測するように指導する。

第2学年では

- 抽象的な概念を表す語句に注意して読むことができるようにする
 - ・ 辞書を活用するなどして論の展開を追いながら理解することができるように指導する。
- 心情を表す語句に注意して読むことができるようにする
 - ・ 読み手自身の体験や読書経験を生かしながら理解できるように指導する。

1 課題となる問題を分析しましょう

<出題のねらい>

この問題は、文章を書く際に、身近な生活の中から課題を見付け、材料を集め、自分の考えをまとめることができるかどうかをみるものです。

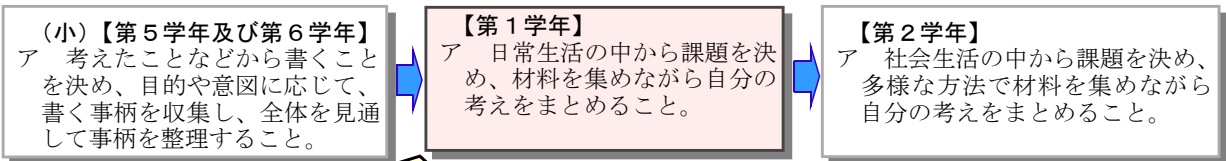
ここでは、国語の授業で日常生活での出来事を基に、テーマに沿って書く場面を設定し、文章を書き表す際に、日常生活の中から材料を集め、自分の考えをまとめることが求められています。

<正 答> 選択肢 1

【A】の2段落では、自分を支えてくれたものとして友達の言葉や存在を挙げています。【B】では、全校集会での校長先生の話や担任の先生、家族などの存在が付け加えられています。このことから、自分の考えを伝えるための材料を増やしていることが分かります。

2 指導内容を確認しましょう

*学習指導要領国語（平成20年告示）から



ア 課題設定や取材に関する指導事項
 ・小学校第5学年及び第6学年の感じたり考えたりしたことから選択して書くことを決めるなどの目的や意図を設定した学習を生かして、日常生活で直接体験したことをはじめ、他教科で学習したことや興味や関心をもったことなど、書くための課題を決めて材料を集め、考えをまとめることについて定着を図ります。

3 指導のポイントを明らかにしましょう

☆ 何について、だれに向けて、何のために書くのかを具体的にするなど、書く目的を明らかにすることができるようにしましょう。

第5学年及び第6学年では
 ○考えたことなどから書くことを決めることができるようにする
 ・家庭や地域、学校生活での学習などで感じたり考えたりしたことから選択して書くことを決めることに加え、いくつかのことを比較したり、関係付けたりしながら課題意識を明確にしていくように指導する。
 ○目的や意図に応じて、書くことからを収集し、全体を見通して事柄を整理することができるようにする

第1学年では
 ○文章を書く際には、伝えたいことを明確にもつことができるようにする
 ・自分の考えを的確に書き表すために、記述の段階で材料を付け加えるなど、文章の内容を見直しながら書くように指導する。
 ○材料を集めながら自分の考えをまとめることができるようにする
 ・材料を集める段階において、本、新聞・雑誌、テレビ、コンピュータや情報通信ネットワークなどが活用できるように指導する。

第2学年では
 ○「日常生活」から「社会生活」全般に広げ、課題を設定できるようにする
 ・人間、社会、文化、自然などにかかわる様々な課題を設定し、多様な方法によってそれに関連する材料を収集することができるように指導する。
 ・学校図書館や地域の図書館、公共施設などを利用した資料の収集ができるように指導する。

1 課題となる問題を分析しましょう

7 小学校六年生に中学校の様子をよく知ってもらうために、林さんたちは、中学校を案内することになりました。次は、案内する場所についての話し合いの一部です。司会は、林さんです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

林 教室のほかに、どこを案内するのがよいですか。意見を述べる際には、理由もあわせて言ってください。

山本 私は、学校図書館がよいと思います。本の数は、小学校よりとても多いし、種類も豊富だからです。また、週末は地域に開放しているので、訪れたことのある小学生もいるのではないのでしょうか。そういう意味では中学校に親しみをもってもらえる場所だと思うので私は学校図書館を案内するのがよいと思います。

三上 中学校に親しみをもってもらえる場所を案内することには賛成ですが、小学校の学校図書館もけっこう広いし、本の種類も多かった気がします。それより校舎横の部室がよいと思います。部活動は中学校生活の大きな楽しみの一つですから。

林 つまり、三上さんの意見は、学校図書館よりも部室を案内した方がよいことですね。ほかに意見はありませんか。

中村 私は、部室を案内することには反対です。学校図書館については、図書委員会の活動も紹介できるので賛成です。

林

二 司会の林さんは、中村さんの発言の内容に不足があると思いました。林さんは、中村さんにどのように問いかけるとよいですか。ここまでの林さんの発言を参考にして、に当てはまる言葉を十字以上、三十字以内で書きなさい。

<出題のねらい>

この問題は、話し合いをする際に、話し合いの方向をとらえて、的確に発言することができるかどうかをみるものです。

ここでは、小学校六年生に中学校の様子をよく知ってもらうために、どこを案内すればよいか司会を立てて話し合う場面が設定されています。司会者として話し手の発言で不足している内容を引き出すために問いかけることが求められています。

<正答について>

正答は、次の三つの条件を満たして解答しているものです。

- ①部室を案内することに反対する理由が不足していることをとらえている。
- ②中村さんに問いかける言い方、または中村さんの発言を促す言い方で書いている。
- ③十字以上、三十字以内で書いている。

2 指導内容を確認しましょう

*学習指導要領国語（平成20年告示）から

【第5学年及び第6学年】
オ 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。

【第1学年】
オ 話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。

【第2学年】
オ 相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げること。

オ 話し合うことに関する指導事項

・小学校第5学年及び第6学年の互いの立場や意図を明確にする学習を生かして、何について話し合っているのかをとらえ、自分の考えと比較して考えをまとめていくなど、建設的に話し合うことを重視する。

3 指導のポイントを明らかにしましょう

☆ だれと何について話し合うのか、何のために話し合うのかを理解し、今は何について話し合っているのかをとらえることができるようにしましょう。

第5学年及び第6学年では
○司会者や提案者、参加者などの役割に基づいて、立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合うことができるようにする
・例えば、決められた時間内にまとめられるように、発言内容を簡潔にしたり、発言回数に注意したりすることができるように指導する。
・自主的な形による話し合い活動の場を多く経験することにより、徐々に学習した内容を生かしていくことができるように指導する。

第1学年では
○話し合いをする際には、相手の立場や考えを尊重する姿勢をもつことができるようにする
○他の人の意見をよく聞き、どこが自分と同じでどこが自分と異なるのかを考えて、自分の意見を述べるようにする
・対話や討論などの言語活動において、話の要点をメモしたり必要に応じて質問したりしながら、互いの共通点や相違点を整理することを通して、建設的な話し合いをするように指導する。
・討論のルールや形式、方法など、小学校で指導している既習事項を踏まえて指導する。

第2学年では
○目的に沿って話し合うことができるようにする
・相手の立場や考えを尊重し、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりすることができるように指導する。
・互いの発言を検討して共通点や相違点を聞き分けたり、話題となっている物事について別の立場や視点から考えたりすることを通して、自分の考えを広げることができるように指導する。

I 学校で指導すること

□ 平成23年度の全国学力・学習状況調査の出題のねらいやその解答の状況等を分析し、発達の段階や指導内容の系統性を踏まえ、当該学年の指導だけではなく、基礎となる下学年の指導や学習が積み重なる上学年での指導を意図的・計画的に行うことが大切です。
フォローアップシートの題材では、

○「A 話すこと・聞くこと」にかかわって～話し合うことに関する指導事項を重視する。
・第1学年
才 話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。
・第2学年
才 相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げること。
・第3学年
工 話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと。

○「B 書くこと」にかかわって～課題設定や取材に関する指導事項を重視する。
・第1学年
日 日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること。
・第2学年
ア 社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめること。
・第3学年
ア 社会生活の中から課題を決め、取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに、文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること。

○「C 読むこと」にかかわって～語句の意味の理解に関する指導事項を重視する。
・第1学年
ア 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること。
・第2学年
ア 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むこと。
・第3学年
ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。

を取り上げています。

□ 「A 話すこと・聞くこと」の話し合うことに関する指導事項にかかわる内容や、「B 書くこと」の課題設定や取材に関する指導事項、「C 読むこと」の語句の意味の理解に関する指導事項について練習問題で学習内容の定着を図ったり、三学期に、今回の調査問題や過去の調査問題における類似問題を授業で取り上げたりするなど、定着の状況を把握し、指導に生かすようにしましょう。

II 付録（データ）

今回の調査問題を、これまで出題された類似の調査問題と比較し、掲載しました。各学校の調査結果などを表に入れるなどして、それぞれの学習内容や領域を明確にして、指導の充実に役立ててください。（学校の平均正答率等を記入して活用願います。）

□ 過去の類似した調査問題

H23 調査問題				過去の類似した調査問題等						
番号	指導学年	領域	調査問題の概要	自校	道	調査問題の概要		自校	道	全国
1ア 1イ	中2・3	言(1)イ	同音異義語を使い分ける	75.7 85.1		小 H20 A2 一	(1)ア (1)イ (2)	漢字を使い分ける	54.5 33.9 63.0	58.1 36.8 64.8
2一 2二	中2・3 中1	A2 A4	スピーチをする	92.8 76.2		中 H22A3 二 中 H19A6 二	スピーチを聞く インタビューをする	58.6 91.7	58.9 92.1	
3二	中1	B±	下書きを推敲する	85.7		小 H20A3	文章を推敲する	33.2	33.7	
4二	中1	C7	文学的な文章を読む	71.3		中 H22 B3 一 B	文学的な文章をよむ （「我輩は猫である」）	83.3 88.6	85.3 89.2	
4三	中1	Cイ		73.1		中 H22A5 二	文学的な文章を読む	80.6	84.2	
6一 6二	中1 中1	C2 C4	索引を読む	83.6 94.0		中 H21A6 二 中 H21A6 二	目次を読む	85.5 80.4	85.4 81.2	
7二	中1	A±	話し合いをする	53.7		中 H20 A1 二	ア イ	話し合いをする	79.8 92.4	80.5 92.8
9一 9二 9三	中2・3 中2・3 中2・3	言(2)イ 言±(イ) 言(1)イ	言語事項等 「ヨボウ」 「勢い」 適切な敬語を選択する（申して）	81.1 91.8 63.7		小 H20 A1 一 中 H22 A10	二(2) 二(3) 三エ	「かぜをヨボウする」 「水が勢いよく流れる」 適切な敬語を選択する（申して）	53.6 73.1 51.8	63.0 76.3 52.8

□ 過去に出題された記述式問題の解答状況

H23 調査問題				過去の記述式問題等						
番号	指導学年	領域	調査問題の概要	自校	道	調査問題の概要		自校	道	全国
5二	中2・3	言(1)イ	書き直した内容に合わせて他の部分を書き直す		65.4	中 H19A7 一		グラフから読み取れる内容について提示された文章に合うように書く		68.4 72.4
7二	中1	A±	話し合いの方向をとらえた司会としての質問を書く		53.7					